

申請者は、生徒1名に対して保護者(親権者)等いずれか1名です。ここで記入していただく申請者は、この書類以外の申請者と同一人物でなければなりません。

基準日の状況で申請してください。

国公立用【家計急変】

第1号様式(第5条関係)その1-2

※基準日現在の状況で申請してください。

奈良県教育委員会 殿 令和 年 月 日  
令和 年度 奈良県高校生等奨学給付金申請書

授業料以外の教育に必要な経費に活用するため、奈良県高校生等奨学給付金の給付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

ふりがな	ならみやこ		〒630-8502
申請者(保護者等)	奈良 都		奈良県登大路町
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・ <u>主たる生計維持者</u> ・本人・その他( )		
対象となる高校生等	ふりがな	ならいちろう	生年月日 昭和 14 年 4 月 30 日 (19 歳)
	生徒氏名	奈良 一郎 4 年 B 組 (出席番号 )	入学年月 年 月
	在学する学校名	国立・ <u>都道府県立</u> ・市町村立	(全日制・通信制・ <u>定時制</u> 課程)
	学校名	あおによし高等	学校 ( ) 学科
過去の高等学校等における在学期間	学校名 (全日制・通信制・定時制課程)	立	在学期間 年 月 日~ 年 月 日 給付金受給回数 回
	学校名 (全日制・通信制・定時制課程)	立	在学期間 年 月 日~ 年 月 日 給付金受給回数 回

対象となる高校生等と保護者等の関係について、該当する項目を○で囲んでください。基準日以前の在学中に生徒が成人(18歳)になった場合は、「主たる生計維持者に」○をしてください。

前籍校がある方は記入ください。

1~5に記載の項目について全て確認して、☑をつけ、自署してください。5. の回数については、対象となる高校生等が受給した回数を記入してください。例: 今回初めて受給される方→0回 早期支給を希望された方も0回と記入してください。

該当する世帯区分のいずれか1つに、○を記入して下さい。(重複して申請できません) ※②を選択された場合、対象となる15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養者については、扶養関係を確認する書類により判断します。

【1】確認事項

下記のすべての事項について確認のうえ、□にし点をつけて自署をしてください。

【1】【2】および裏面の【3】【4】のすべてに記入してください

☑ 1. 本申請書や添付書類等の記載内容に相違のないことを誓約します。

☑ 2. 申請にあたり以下の項目について了承します。  
(1) 生活保護の受給状況について、住所地を所轄する市町村担当課等に照会する場合があること。  
(2) 申請書類に虚偽の記載を行うことにより、本来受けることができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を直ちに返還しなければならないこと。

☑ 3. 私は、高校生等※について、奈良県及び奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。  
高校生等※は、児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))

☑ 4. の支弁対象ではありません。

☑ 5. 私は、生活保護(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助

6. 高校生等※が、高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、( 3 ) 回です。

申請者氏名 (保護者等 自署) 奈良 都

※この申請書の対象となる高校生等のことです。

【2】申請区分について

申請される世帯区分に○を記入してください。(1箇所のみ記入してください。)

申請	世帯区分
①	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯に相当すると認められる世帯(②を除く)
② ○	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯に相当すると認められる世帯で、15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹※がいる2人目以降の高校生等の世帯(①を除く)(1人目の高校生等は①の給付額となります。)

※対象は平成 年7月3日から 平成 年4月1日生まれの方(15歳(中学生を除く)以上23歳未満)です。

